



2018年(平成30年)

7月23日 月曜日



発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688 帯広市東1条南8丁目
編集 ☎0155-22-2121 広告 ☎0155-23-2323
販売 ☎0155-24-2222 事業 ☎0155-22-7555
購読 ☎0120-25-3999

民泊経験者に就業体験

農漁村ホームステイ事業 交流続け移住策に

高校生の農山漁村ホームステイ事業に取り組むNPO法人食の絆を育む会(浦幌町、近江正隆理事長)は今年度から、ホームステイ後も十勝とつながり続けたいと思う若者に交流の機会を提供する新事業を始める。企業や個人からの賛助会費で十勝での就業体験などを実施。将来的な就職や進学などで地域活性化につなげたい考え。

農山漁村ホームステイは2010年から実施し、農家や漁家の協力を受けて修学旅行で訪れた大阪や東京の高校生を受け入れてきた。これまでに生徒1万7000人が参加している。同NPOによると参加後産大学に進学したり、管内で就職したりするなど、十勝への移住の動きも出てきた。生徒が独自で交流を続ける例がある。中には帯広畜産大学に進学したり、管内で就職したりするなど、十勝への移住の動きも出てきた。

ているという。事業後の継続的な交流に地域活性化の可能性を感じ、新事業に取り組む。

就業体験はホームステイに参加した20代のうち、移住を考えている人が対象。

1、2週間農家や企業で働きながら、十勝での暮らしをイメージしてもらう。今年8月、9月にも実施予定

で、大学生5人程度が参加する。

受け入れ家庭と交流できるイベントやインターネット交流サイト(SNS)の立ち上げ、ホームステイ参加校での十勝食材を使った調理実習、農山漁村を学ぶワークショップなども計画している。

近江理事長は「交流を望む若者が現れたのは、農家や漁家の方々に長く受け入れてもらった成果で、十勝の財産。ホームステイを軸に、十勝の地方創生の一助になるよう新事業に力を入れた」と話す。

同NPOは事業費に充てる賛助会費を募っている。法人は1口5万円、個人は5000円。賛助会員にな

ると、NPOのホームページや発行物への名前、企業・団体名の掲載などの特典がある。問い合わせは同法人(0155・578・7955)へ。(伊藤亮太)